

平成29年度 学校自己評価表

次の質問について、A～Dの該当する欄に○印をつけて下さい。					
A：よくあてはまる		B：概ねあてはまる			
C：あまりあてはまらない		D：全くあてはまらない			
質 問 事 項		A	B	C	D
I 学校運営に関するもの					
1	【安心安全な学び】 3.05 ①安全教育の推進 ②環境整備の推進 ③健康の保持増進 ④危機意識の高揚		○		
2	【学力の向上】 3.08 ①基礎学力の定着 ②授業力の向上 ③進路指導の充実 ④キャリア教育の推進 ⑤資格取得の推進		○		
3	【心と体を育てる】 3.12 ①基本的生活習慣の確立 ②人権尊重の推進 ③部活動及び生徒会活動の充実 ④読書活動の充実 ⑤主権者教育の推進 ⑥奉仕活動の推進		○		
4	【信頼される学校】 3.29 ①広報活動の充実 ②受検生の確保 ③家庭との連携 ④地域との連携 ⑤コンプライアンス ⑥人材の育成 ⑦働きやすく働きがいのある職場づくり		○		
<p>学校経営方針の大きな目標を、「授業に熱心」「部活に熱心」「資格に熱心」の3本柱とし、全職員・全生徒が「チーム都工」を合い言葉に、「未来を切り拓く、心豊かでたくましい人材の育成」を目指して、上記4つの項目を重点的に取り組んできた。</p> <p>【安心安全な学び】 交通事故22件、幸いなことに骨折等の重大事故には至っていない。事故状況は1学期の発生が多く、信号機のない交差点や左折もしくは右折時に車と自転車による接触が多い。新学期早々の交通教室や交通指導の機会を増やすことで生徒のより一層の意識の高揚を図る。 施設面では、全職員による安全点検を行い、不備な箇所について計画的に整備をしている。そのほか、生徒の課題研究で側溝の蓋を作成するなど生徒共に環境整備に努めた。また、2年棟では、蚊の大量発生があり対策が急務である。</p>					

【学力の向上】

教員の授業力向上に努め、6月と11月に研究授業を行った。事後研修会において、教科学科の枠を超えて、授業について協議することが更なる教員のスキルアップにつながった。今年度は、「見る、聞く、書く、話す、考える」のバランスがよい授業を意識し、生徒が主体的に学ぶ授業づくりを今後も実践継続していく。そのほか先進校視察を行い、今後本校の参考にしていくための研修報告を行った。

資格取得においてジュニアマイスターゴールド33名、ジュニアマイスターシルバー31名であった。昨年とほぼ横ばいであるがゴールド取得者は昨年の倍である。来年度も継続して資格取得の意義をしっかりと説明して合格率向上に努めていきたい。

進路状況について今年度893社から求人票をいただいた。就職希望者のうち、第一希望の企業内定率は93.1%であり昨年度より4ポイントほど上昇した。県内就職状況も25%であり、昨年度より3ポイントほど上昇した。依然として保護者本人の希望として県外就職が高い状況にある。また、公務員に7名、国立大学に6名合格した。

【心と体を育てる】

人権学習の内容は、いじめ、ネット上のいじめ、偏見や差別、部落差別、進路保障に係る内容を各学年ごとに学期1回行った。いじめはどこでも起こりうることに認識して、迅速な対応を全職員でしていく。

運動系、文化系、技術系合わせて29の部そして1つの同好会が活動している。そのなかで、今年度も多くの部活動が県内各種大会において上位の成績を上げることができた。特に、自転車競技部所属の女子選手が全日本ジュニア新記録を樹立するなどめざましい活躍を見せた。また、全国選抜自転車競技大会（500mタイムトライアル競技）において優勝を果たす。吹奏楽部は福岡での九州スチューデントジャズフェスティバルにおいて5年連続高校部門1位を獲得している。建設技術部の3名の生徒は、測量部門ものづくり九州大会において1位を獲得した。県高等学校英語スピーチコンテスト（暗唱の部）において本校初の1位を獲得した。

【信頼される学校】

都工新聞（学校PR新聞）を5回発行して都城、三股地区の中学校に配布してきた。内容は、資格取得、部活動の活動状況、進路状況など本校の学校生活の様子が伝わるコンセプトで構成しており、「中学生が行きたい、保護者が行かせたい」を意識した紙面作りを行っている。また、4中学校、1小学校における出前授業は毎年好評である。

地域活動の貢献では、「ふれあい五十市文化祭」への参加。西都城駅イルミネーション設置を行っている。また、イベントにおいて吹奏楽部は、質の高い地域での演奏会（10回）を行っている。

不祥事を受け、コンプライアンスに係る研修、セクハラ・パワハラ防止に関する研修、人権に関する研修、主権者教育の研修、生徒と職員を対象にした防災教室や救急救命の研修を実施した。